

授業科目 運動学習

| | | | | |
|-----------------|------|----|-------|-------|
| 【担当教員名】 久保雅義 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 理学・作業 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

単なる「施術者」としての理学療法士を超えて、これからの理学療法を自ら検討し構築することのできる「臨床的学者」としての理学療法士をめざすためには、科学的手順に基づく研究法を理解することが不可欠である。

この授業では、さまざまな科学的研究方法について学習をおこなうと共に、四年時の卒業研究および卒業論文の完成への支援として位置づけられる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 運動学習の理論的背景を説明できる。
2. 運動学習の効果に影響する条件を説明できる。
3. 運動学習／制御における中枢神経系の役割について説明できる。
4. 協調運動について説明できる。
5. 運動の「バラツキ」について説明できる。
6. 知覚と行動の結びつきについて説明できる。
7. 脳の可塑性とリハビリテーションのアプローチについて説明できる。

| 回数 | 授業計画又は学習の主題 | SBO | |
|----|---------------------|-----|--------------------|
| | | 番号 | 学習方法・学習課題又は備考・担当教員 |
| 1 | 運動学習の理論的背景 | 1 | 講義・久保 |
| 2 | 運動学習の条件 | 2 | 講義・久保 |
| 3 | 運動学習と小脳 | 3 | 講義・久保 |
| 4 | 協調運動の成り立ち | 4 | 講義・久保 |
| 5 | 運動の「バラツキ」 | 5 | 講義・久保 |
| 6 | パーセプション・アクションカップリング | 6 | 講義・久保 |
| 7 | 脳の可塑性とリハビリテーション | 7 | 講義・久保 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格・その他> |
|-------------------|-------------------------------------|-------|-------|--------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | | | |
| 参考書 | 運動学習とパフォーマンス-理論から実践へ、大修館書店、4800円 | | | |
| | モーターコントロール-運動制御の理論と臨床応用、医歯薬出版、8600円 | | | |
| その他の資料 | | | | |

| | |
|--------------------|-----------|
| 【評価方法】 期末試験（筆記） | 【履修上の留意点】 |
|--------------------|-----------|